



わが家のアイドル

立野にお住まいの

土屋 克也さん・由美子さんの

長男 **偉生** くん(6歳)

二男 **快吏** くん(3歳)



トーマスとショベルカーと

お兄ちゃんが大好きな「かいり」です。

ケンカしながら、毎日楽しく遊んでいるよ！

下田市内の指定文化財

その43

下田市指定史跡

阿弥陀如来坐像

所在地 一丁目 稲田寺

指定日 昭和56年8月7日

稲田寺は、鶴松の墓、津なみ塚、藤棚で知られる名所。しかし稲田寺の魅力は以上に留まりません。この寺には貴重な仏像があるのです。



阿弥陀如来坐像

堂内を圧倒する丈六仏

その仏像は、山門をくぐった右手、「西向院」の額を掲げた堂内に安置されています。この像に直面すると、堂内を圧する迫力に圧倒されます。稲田寺阿弥陀如来坐像は像高2m8cmを測る、伊豆最大の古像なのです。

經典は、釈迦の身長を一丈六尺(丈六)と説くので、仏像の大きさは、丈六が理想的です。現在の一尺は約30cmで、丈六は4m80cm、坐像はその

半分。稲田寺像はこれに及び

ません。実は仏像には、古い周尺を用いることが多く、この一尺は現在より小さいのです。稲田寺像は周尺に基づき、丈六像なのです。

仏像は丈六が望ましいのですが、丈六像の造像は費用面でも、安置する建物を確保する点でも大変で、実際は等身大以下の仏像がほとんどです。現在、伊豆の丈六像は、他に修禪寺指月院の釈迦坐像が知られているだけです。この点で稲田寺像は貴重なのです。

定朝様

稲田寺像の魅力は、穏やかで優美な造形です。わずかな起伏で表現した肉体と、浅く整理された衣文。印象的なのは、頬がふくらむ丸顔に小ぶりな目鼻立ちの、瞑想的で穏やかな表情です。これらは、大仏師・定朝が確立した様式で、定朝様は平安中期から後期、全国的に一世を風靡しました。稲田寺像は、平安後期の典型的な定朝様の仏像です。

伝来の謎

ところで、稲田寺像の洗練

された造形には地方色が感じられません。このことは何を表すのでしょうか。

この仏像は、大浦の西向院(西光院)からきたといえます。その西光院は、河津の谷津から移ってきたようですが、仏像に関する記録は皆無です。足立鉄太郎氏は、可能性として、平泉の奥州藤原氏がこの像を京都で造らせたものの、輸送船が難破して大浦に漂着したのではないかとされました。しかし、河津の谷津周辺には、南禅寺など、多くの平安時代の仏像が点在しています。本像もこれらの仏像と関係があるのかもしれませんが。



敷根山稲田寺

(市文化財保護審議委員田島) アクセス 伊豆急下田駅から徒歩5分。問合せ先 教育委員会生涯学習課

☎ 5055

